

## 令和5年度 静岡県交付金整備計画等の評価に係る面談

### 【意見】

番号	整備計画名	アドバイザー名	第三者意見	対応
5	命と暮らしを守る“ふじのくに”のみちづくり（防災・安全）	山内アドバイザー	静岡県は能登半島と同じような半島地域、中山間地機を抱えている。能登半島地震の大災害を機に、本事業を加速化させ、重点的に実施していくと良い。	御意見を踏まえ、今後、道路の防災対策を積極的に実施していきたい。
		下川アドバイザー	アウトプットに加えてアウトカムによる評価も重要。どう評価するか。例えば、災害時の拠点間のルートが何パターン増えるのか、孤立の恐れがある集落がどの程度解消されるのか、など、ネットワークを示しながら、視覚的に理解していただくのも一つの方法かと思われる。	御意見を踏まえ、今後、道路の防災対策の評価方法を検討していきたい。
		原田アドバイザー	災害時は、ネットワークとして道路が使えることが大事となる。政令市とも情報共有して取り組むと良い。	御意見を踏まえ、今後、政令市との情報共有を検討していきたい。
7	静岡県における安全安心で魅力ある県土づくりを目指した浸水対策の推進（防災・安全）	原田アドバイザー	監視カメラや水位計を設置したことで、危機管理体制が向上した事例等をまとめておくと、対外的に説明がつきやすくなるのではないかと。	御意見を踏まえ、今後、事業効果PRに向けて検討していく。
10	静岡県における安全・安心な住まいづくりの推進（静岡県地域住宅計画）	五味アドバイザー	直近は、津波対策について大きく取り上げられていたが、能登半島地震においては、住宅の倒壊により多くの方が亡くなったと伺った。住宅の耐震化は、非常に重要な施策であると思う。 住宅の耐震化率の目標を95%としているが、目標は100%であるべきではないか。避難路の道路閉塞の防止については、空き家対策も今後重要になってくると思う。災害対策部局は複数にわたると思われるが、連携し行って欲しい。	御意見を踏まえ、引き続き住宅の耐震化を進めていく。 空き家の対策については他課の所管になるが、除却や跡地利用の補助制度、空家バンク等の活用により、空き家を減らすよう取り組んでいる。
		山内アドバイザー	能登半島地震で得られた知見を、今後活用して欲しい	御意見を踏まえ、引き続き住宅の耐震化を進めていく。
		下川アドバイザー	建物としてはユニバーサルデザイン化が進んでいるようだが、外構や周辺環境の整備や入居者の年齢層に応じたソフト面の対応まで含めて、真のユニバーサルデザインを実現していただくとうい。	指標には含まれていないが、外構もバリアフリー化を図っている。 また、高齢者にはケアマネージャーなどの福祉担当に取り次いだり、外国人世帯には通訳を連れて困り事の相談にのったりするなどして、住みやすい県営住宅の整備に努めている。 御意見を踏まえ、引き続き取り組みを行っていく。